

「星の砂」の歌を知っていますか？

能美図書館が制作している児童文学誌「小鳥」第21号が、昨年12月に発行されました。最新刊のトップを飾るのは『星の砂～青い海の有孔虫～』という歌です。「さとうみ MUSIC」シリーズ第7弾！作詞・作曲はおなじみ“Satsuki & Kazu”の二人組。今回題材になっている「星の砂」は、死んだ有孔虫の殻であり、日本では沖縄県の海岸で多く見られます。Satsukiさんの幼い頃の体験から始まる詩と、Kazuさんの美しい曲で、星の砂や南の海など、色々なことをイメージしていただけたら嬉しいです。紙面の楽譜は小さくて見えにくいですが、今回もさとうみ科学館HPで音源とともに公開しています（教育コンテンツ「さとうみMUSIC」内）。大人っぽい仕上がりの、優しく、美しく、少し切ない『星の砂』を、ぜひ聴いてください！そして、歌ってくださいね！

（※「有孔虫」については、マリンライフ Vol.139号『やってみよう 見てみよう』で紹介しています。）

星の砂
～青い海の有孔虫～

詩 Satsuki
曲 Kazu







星の砂
ありがとう
ずっとずっと輝く
青い海は君がいたから美しい
白い砂は君がいるから美しい
生き抜いたのち愛でられる
ちょっとせつない 有孔虫

宝物 星の砂
そこにあつた 命の証
どんな姿で過ごしてたの
今度は見つけるよ
あいたいな

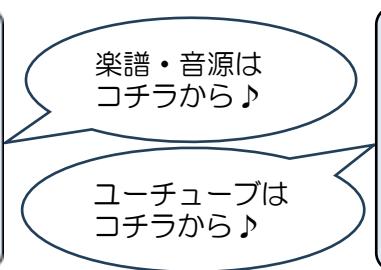
星の砂
光る波 白い砂
すぐつた手 一番星
きれいね 星の砂
青い海 白い砂
太陽の香りの風が吹く
遠い遠い南の島

星の砂

～青い海の有孔虫～



公式ホームページ



公式 YouTube



やってみよう 見てみよう

「砂の中にある宝物」の巻

海岸の砂の中には、鉱物や岩石片とともに、有孔虫や微小貝、海綿動物や棘皮動物の骨片など、いろいろな生き物たちの遺骸（いがい）が含まれていることがあります。今回は、顕微鏡を使って、そんな海砂を観察してみましょう！

【ウニのトゲ】

棒状の紫色や褐色のトゲ



海から探ってきた砂



【有孔虫】

丸や星形などいろんな形があるよ！



【ウミトサカの骨片】

無色または、赤～黄色の透明な棒で、表面に細かい突起がある。



のぞいてみると…



【海綿動物の骨片】

透明ガラス質の骨片



いろいろな形を見つけることができるね！



【微小貝】

小さな巻貝や二枚貝。



ここに注目

1. どこの海岸の砂の中に多く含まれているだろう？
2. どんな形（種類）の遺骸が含まれているだろう？
3. 川や池の砂にも何か含まれているだろうか？

【有孔虫（ゆうこううちゅう）】

有孔虫は、世界の海に生息しているアーマーバ状の原生動物（1個の細胞で生きています）です。自分の体のまわりに殻（骨格）をつくり、この骨格に小さな孔が無数にあいていることからこの名で呼ばれています。骨格はこわれにくく、5億年前のカンブリア紀の地層からも、化石としてみつかるそうです。

◆ 他にあるよ！！ Let's Try ! ◆

江田島市の海岸は、ほとんどが花崗岩の岩肌です。花崗岩は、磁鉄鉱などの黒い微細な鉄鉱物を含むため、鉄鉱物を多く含む岩には磁石がくっつく場合があります。また、岩が風化すると鉄鉱物は砂鉄となって土砂中にたまります。ネオジウム磁石のような強力な磁力をもつ磁石をビニール袋に入れ、ヒモに吊るして海岸を歩いてみましょう！磁石がくっつく岩や、砂の中から砂鉄を回収することができるかも！！

